

第53回 島立地区芸術文化祭 第19回 島立地区福祉ひろばまつり

11/9(土)
10日



福祉ひろば エルダー体操



松本スクエアダンスクラブ山百合
島内スクエアダンスクラブしらかば



伊藤さん、深尾さん
活動発表



島立小学校ブラスバンド部



高綱中学校吹奏楽部



島立さわやかコーラス & 三郷コーラスを楽しむ会



かがりサークル



花の会



陶芸クラブ



▲ 島立児童センター



▲ 紫水会



筑摩高校書道部 ▶



▲ 絵手紙クラブ



明るい選挙啓発ポスター



◀ 俳画だより
同好会



写真(個人出展)



パッチワークの会



機織り体験



ひろば喫茶 & クラフト体験



令和7年1月1日現在

世帯数	2,927 世帯
男	3,211 人
女	3,357 人
総人口	6,568 人

ブラスバンド部コンサート



12月14日(土)
島立小学校ブラスバンド部のクリスマスコンサートが音楽文化ホールで開催されました。今年度は「音楽に心をふきこもう」を目標に意欲的に練習を重ねてきた34名の部員達。夏の大会で挑んだ「アメージング・グレイス」や自身で考えたメロディーのソロを多用した「シングシングシング」など年間の集大成として計8曲を奏でました。高綱中・松島中の各吹奏楽部もゲスト出演。ブラスバンド部出身の先輩も多く、中学でも音楽を楽しみ上達を続ける姿に勇気付けられました。最後は3校の合同演奏「宝島」。約100名の大迫力の響きに会場は高揚感に包まれました。楽しさ・温かさ・力強さ：部員達の心が観客に届き感動的なコンサートとなりました。

同部は島立地区の行事にも度々登場しています。今度聴きに足を運んでみませんか？きっと元気をもらえますよ！

もみじ湖ウォーキング

11月6日 (水)

中村いきいき百歳体操と中村公民館で募集した計13人で、「もみじ湖祭り見学&ウォーキング」のバス旅行です。



朝8時30分に中村公民館を出発。「もみじ湖」では観光コースの「もみじのトンネル」からスタートし、途中にコーヒータムを入れながら、綺麗に赤く染まったもみじの木の下を、一時間程歩きました。その後、「道の駅 南アルプス長谷」に行き、みんなで「ソースカツ丼」を美味しく食べ、パンで有名なお店でミニクロワッサンを、またキノコなどの買い物を楽しみました。そして「かんてんぱぱガーデン」にも寄って、野村陽子さんの繊細で綺麗な植物絵を鑑賞し、16時頃に無事に到着しました。参加者の万歩計では約8000歩と、よく歩きました。



観音様のだんご投げ

11月17日 (日)、荒井

公民館前で「観音様のだんご投げ」が行われました。小学



校5・6年生が旧野麦街道沿いにある観音堂にお参りした後、町会内をふれ回り、公民館前に設置した特設やぐらから団子、菓子、五円玉をまき、多くの住民が歓声を上げながら夢中になって拾いました。この行事は、地域の祖先が厳しい生活の中から様々な祈りや願いを込めて創造し、今日に伝えてきた民衆の遺産です。今年も無事に引き継ぐことができました。

女性委員会共催の公民館講座



11月21日 (木) 島立公民館

調理室で『おいしいコーヒーの淹れ方』と題して、講師をカフェ・シユトラッセの児玉さんにお願ひし開催しました。今回は淹れ方の基本を学ぶ講座になりました。

豆の種類と焙煎度合いの話から始まり、焙煎度合いに合った4種類の豆で実際に抽出しながら進みます。

お湯の温度は83℃で、使用する豆、ペーパーなどは密閉できる状態で保存する、たくさんさんの量を保存しない(劣化が進む)など特に粉を使うときはできるだけ少量で(シユトラッセでは最低100gで配送しているそうです) 購入するのが良いようです。

焙煎、粉のメツシユ、分量、湯の温度、抽出時間、抽出量の条件を変えるだけで、同じ豆でも違う味のコーヒーが楽しめるそうです。



▶ 抽出時の最高の状態



島立子森・杜探検隊 ミニ三九郎づくり&まゆ玉づくり体験

代表 木下 明子

島立つ子森・杜探検隊では11月24日 (日) にミニ三九郎づくりとまゆ玉づくりをしました。大切な伝統行事を伝えるために6年前から毎年行っています。

三九郎のいわれや作り方は地域の皆様のご指導で習い、子どもたちの「自分でできる力」を育てる機会になりました。棒の組み立てや縄の縛り方、米粉で作るまゆ玉の意味

や素朴な味、どれも大切に伝えていきたい地域の行事です。三九郎は厄除け、無病息災、疫病退散、五穀豊穡などを祈ります。座学で学び実際に作ってみる体験は、地域のことを知り、協力しながらの作業をすることで暮らしに役立つことにもなりました。

どの活動も地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。



エンディングノートを作成してみよう!

人生100年時代。「エンディングノート」を用いて人生を振り返り、また今後も最後まで自分らしく生きていくための公民館講座を行いました。



第3回の講座 (全4回) では、元医療コーディネーターの安曇野市社会福祉協議会の職員を講師に、「人生会議」について詳しくお聞きしました。「誰かのお世話になる時、どこでどんな風に暮らしたいか、どんな医療を望むか、家族と話し

ておくことが大切だ」とおっしゃっていました。また、「もしもカード」を使って、もしもの時に自分が大切にしたいものについて考える時間がありました。「痛みや苦しみが無い」話をきいてくれる人がそばにいる「家族と一緒」など、沢山あるカードの中から自分だったら何を選ぶか? とゲーム感覚ながら皆さん真剣な顔で選んでいました。もしもの時は誰にでも訪れます。何気ない会話で家族や友人と話しておきましょう。